

第11回総合海洋政策本部会合議事概要

◎ 日 時：平成26年7月4日（金） 10時20分から10時30分

◎ 場 所：官邸4階大会議室

◎ 議事：

- 「大陸棚の延長に向けた今後の取組方針」が決定された。
- 「排他的経済水域等の海域管理の在り方検討チーム」検討結果について、報告があった。
- 「『排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する基本計画』の平成25年度の進ちょく状況及び平成26年度の実施事項」について、報告があった。
- 最後に、総合海洋政策本部長である安倍内閣総理大臣が、次のように述べた。

「我が国は、四方を海に囲まれた『海洋国家』であります。この広い海からもたらされる資源は、日本の未来を切り拓く、大きな可能性を秘めています。

この度、国連海洋法条約の規定に基づき、天然資源の探査・開発に、我が国の主権的権利が及ぶ大陸棚を延長することといたしました。これは、日本の国益に関わる大きな成果であります。政令の制定を含め、大陸棚の延長に向けて、関係省庁で連携して適切に取り組んでいただきたいと思います。

また、領海や排他的経済水域の管理については、海洋産業を振興するため、海域利用者や環境に十分配慮し、利用調整の円滑な仕組みづくりが必要です。この観点から、必要に応じ法整備も検討する等、関係省庁で連携して取り組んでいただきたいと思います。」